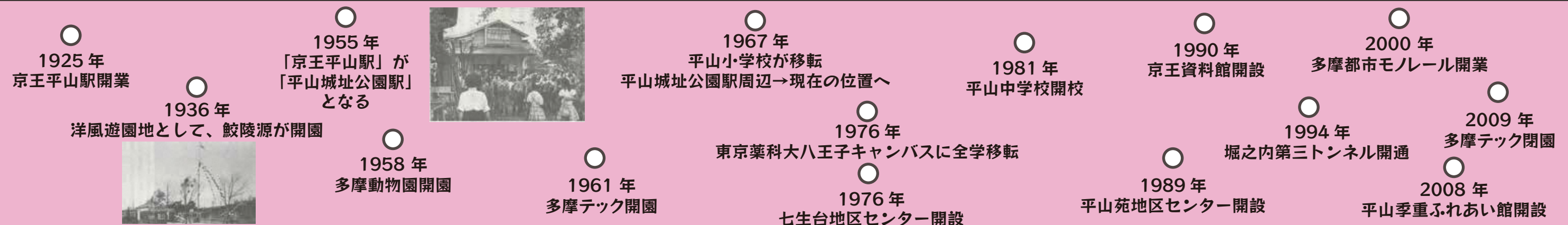
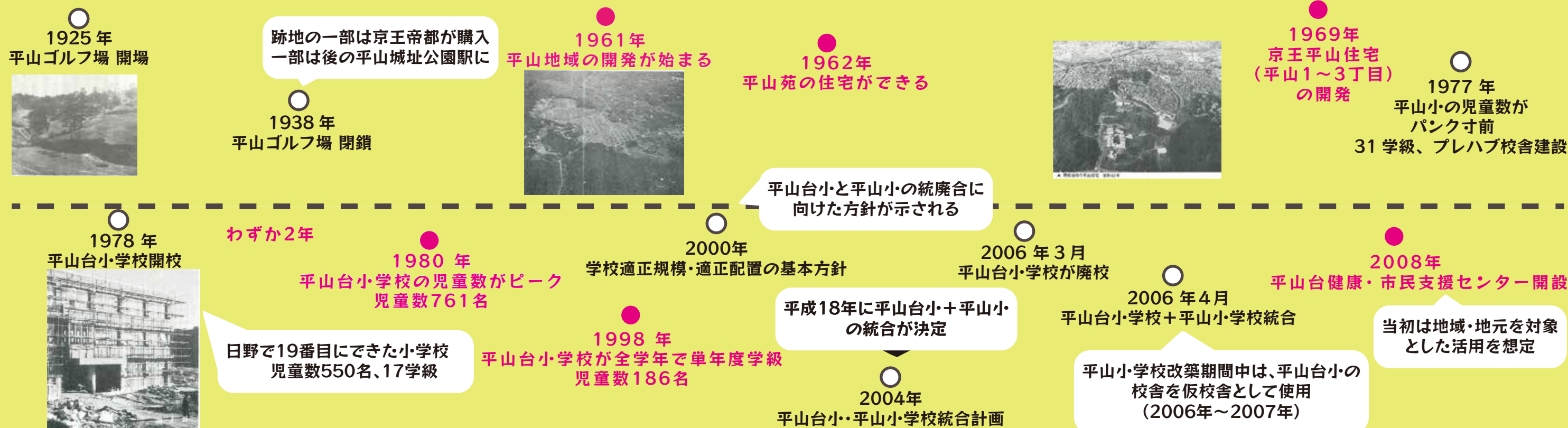


平山地域と平山台健康・市民支援センターの歴史

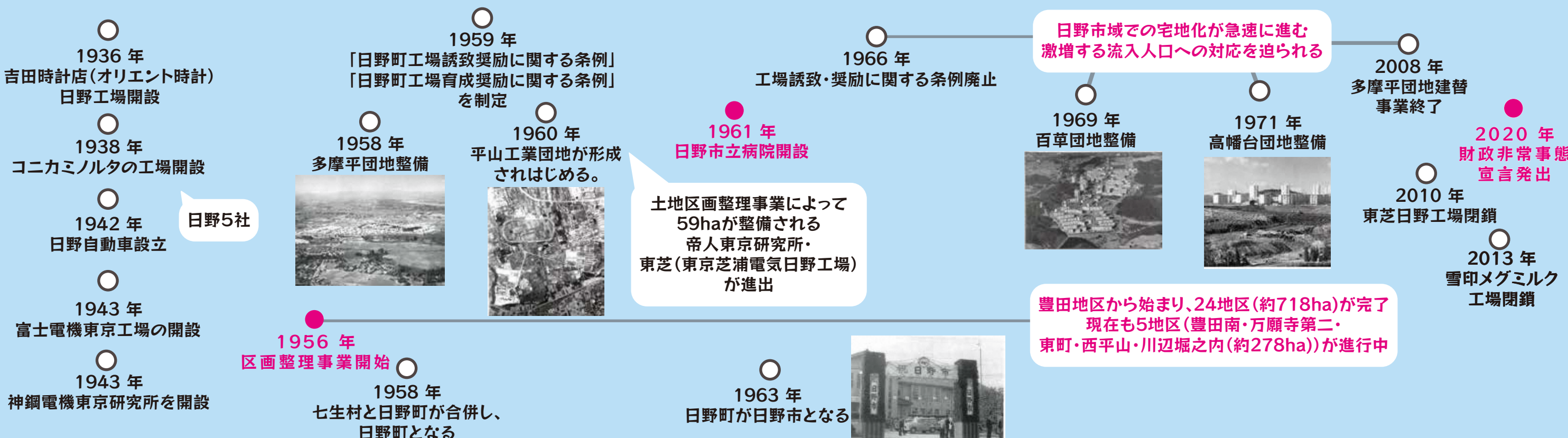
平山地域の歴史



平山台健康・市民支援センターの歴史



市の動向



1.施設の概要

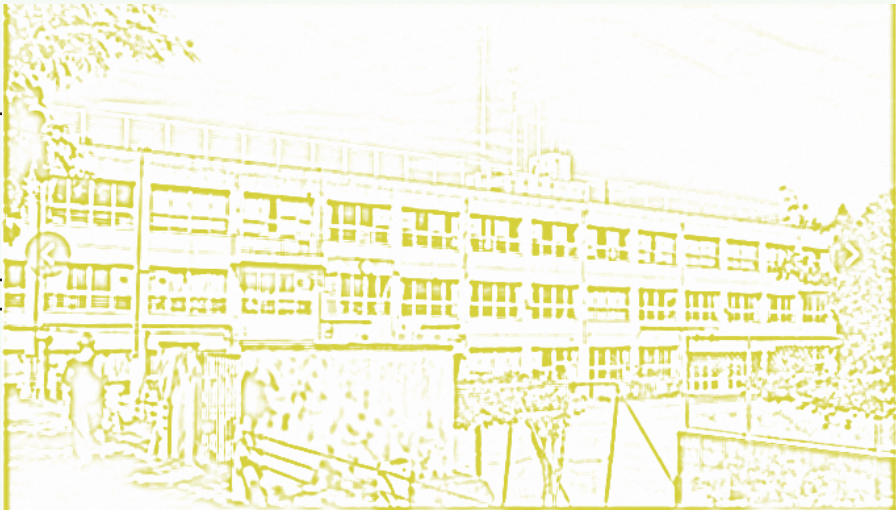
建築年度：

昭和53年（1978年）

開設：

平成20年（2008年）

敷地面積	18,565.59㎡
建築面積	2,826㎡
延べ面積	5,972.84㎡
構造	鉄筋コンクリート
階数・高さ	地上3階・13.15m



用途：事務所 / 集会場 / 作業所 / 倉庫
※建築基準法48条許可

地域・地区：
第一種低層住居専用地域 / 市街化調整区域 / 第一種高度地区

平山台・健康市民支援センターとなって、今年で15年目
旧学校施設を利活用した、地域のコミュニティ施設として、開設

2.これまでの経過

平成20年	
4月	平山台健康・市民支援センター開設 (自主管理運営委員会・平山1丁目～3丁目)
7月	障害児放課後倶楽部（おおぞら）
9月	平山台交流の会
10月	団塊世代広場
11月	平山台文化スポーツクラブ やまぼうし
平成21年	
4月	栄光平山台保育園

- ・当時からの地域の課題であった市内第一位の高齢化率から、健康増進、地域住民同士の助け合い、地域コミュニティの活性化を図るため、平山台健康・市民支援センターを開設。
- ・建物自体は、旧学校施設の躯体、設備をそのまま使用。

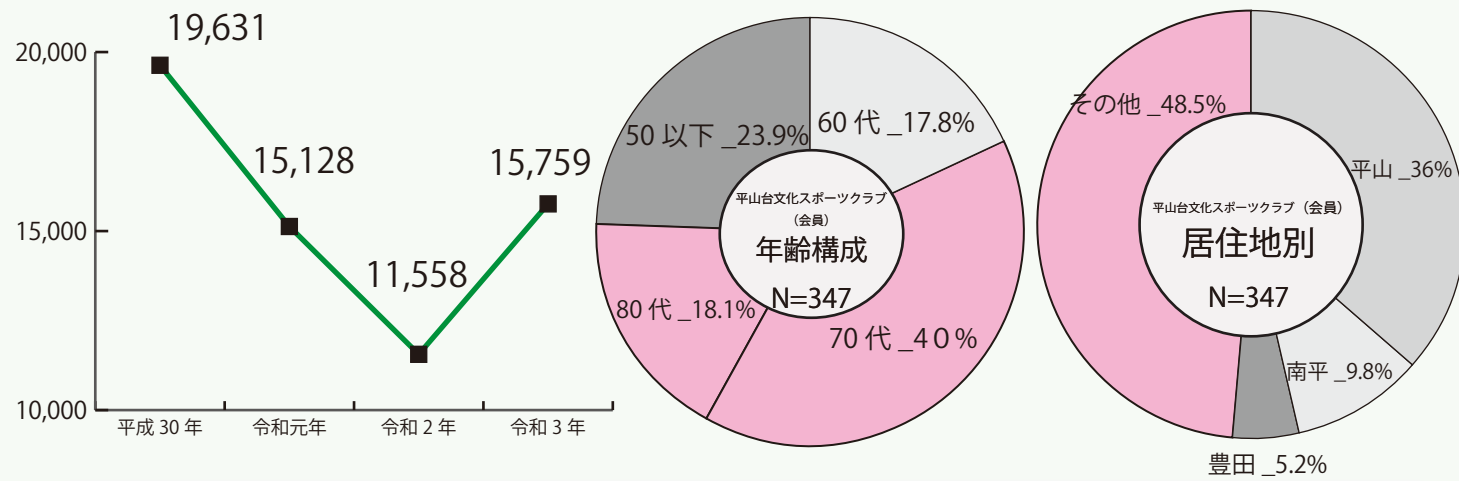
3.施設の有している機能

スポーツ・保育・障害者・地域コミュニティ・
高齢者・カフェ・居場所・防災

旧小学校施設を活用し、様々な機能を担っている。

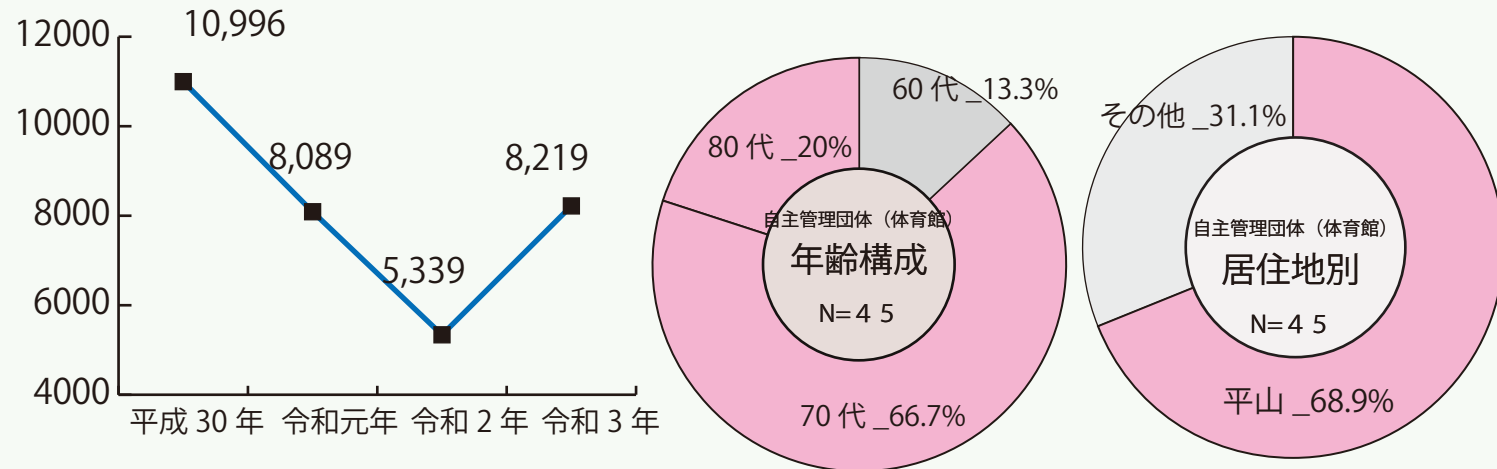
4.団体別利用状況

平山台文化スポーツクラブ利用者数の推移



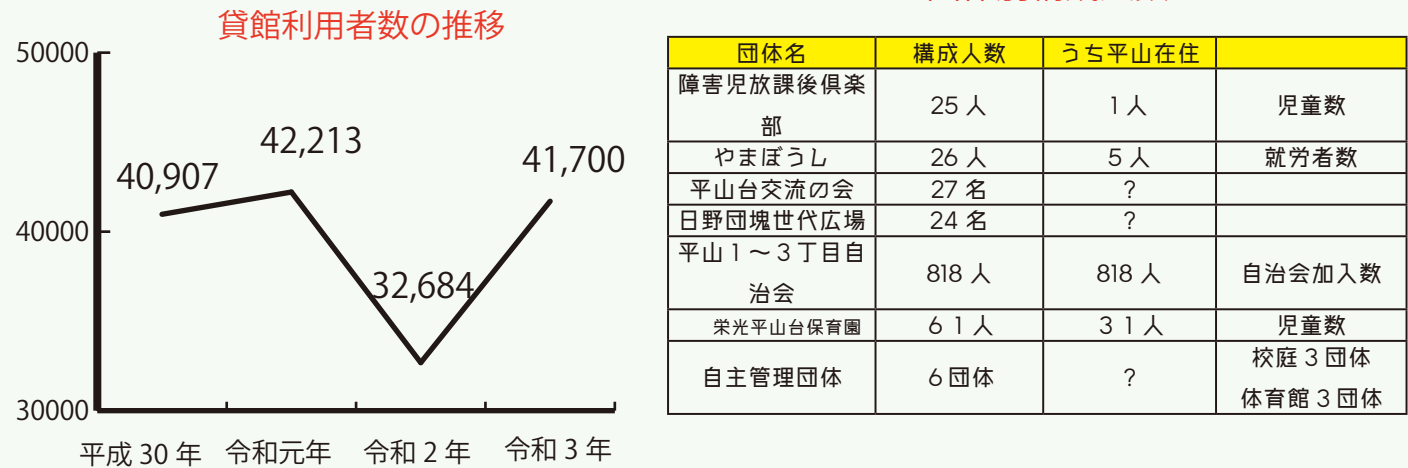
- ・クラブの年齢構成グラフから、会員の約6割は70代以上
- ・会員のうち、居住地別でみると、平山地域在住は、約36%、多くは、地域外から利用していることがわかる。

自主管理団体（体育館・校庭）利用者の推移



- ・体育館利用の自主管の年齢構成グラフから、全員が60代以上であり、70代以上でみると、8割を超える。
- ・居住地別でみると、約7割が平山地域在住者である。

団体別構成人数



- ・貸館の利用者の推移。地域内外から利用者がいる模様。

4. 躯体の状況



- ・竣工してから45年目を迎えるが、大規模改修(設備、躯体含む)・耐震補強は実施していない。
- ・建物は、旧耐震基準
- ・法定点検(建築設備・防火設備・特殊建築物点検)において、毎年、多くの指摘事項が上がっており、建物、設備ともに限界を迎えつつある。

5. 主な修繕・維持管理コスト

過去 7 年間における主な修繕

年度	件名	金額
令和 3 年度	体育館火災報知設備更新	¥1,133,000
令和 2 年度	体育館照明 LED 化	¥4,400,000
令和元年度	キュービクル更新	¥21,021,000
	集会室 2-2、2-3 エアコン設置	¥874,800
平成 30 年度	グラウンド壁当て撤去	¥442,800
	体育館雨どい修繕	¥810,000
	PCB 含有機器取替	¥2,268,000
平成 29 年度	西棟トイレ換気扇取替	¥299,160
	給水配管修繕	¥123,660
平成 28 年度	電灯幹線ケーブル更新	¥2,019,600
	受水槽一次側仕切弁修繕	¥151,200
	消防用設備等修繕	¥484,680
平成 27 年度	機械室雨漏り修繕	¥170,229

施設維持管理コスト

項目	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
光熱水費	7,840,000	7,272,965	8,023,489
修繕料	22,186,126	5,140,240	1,422,850
委託料	8,625,730	8,426,712	9,587,018
計	38,651,856	20,839,917	19,033,357

- ・修繕事項として、突発的なものが多く、都度対応をしてる状況
- ・この7年間で、約3,500万円ほど。
- ・施設に全体の維持管理コストは、直近の3年間では、平均、約2,600万円程になる。
- ・光熱水費の高騰(とくに電気代)により、さらなる影響を受けることが懸念される。

6. 試算

耐震診断・耐震補強

	設計	工事	監理	合計 (千円)
校舎 (RC 造)	7,444	97,954	2,477	107,875
体育館 (S 造)	1,759	39,995	2,234	43,988
合計 (千円)	9,204	137,949	4,711	151,864

大規模改修

	基本設計	実施設計	工事	監理	合計 (千円)
校舎 (RC 造)	8,603	15,723	1,270,500	47,662	1,342,487
体育館 (S 造)	1,819	3,324	140,800	10,075	156,017
合計 (千円)	10,421	19,047	1,411,300	57,737	1,498,505

建替え

	基本設計	実施設計	工事	監理	合計 (千円)
校舎 (RC 造)	10,721	83,261	2,010,063	42,659	2,146,703
体育館 (S 造)	2,907	7,718	422,849	3,597	437,071
合計 (千円)	13,627	90,979	2,432,912	46,256	2,583,774

	大規模改修工事 (主な内容)
1	屋上防水
2	外壁改修
3	サッシ改修 (外窓)
4	内装改修 (天井・壁・床)
5	建具改修 (扉・収納棚など) ※外部サッシ、備品・什器は除く
6	基幹設備の更新 (キュービクル・水槽など)
7	給排水衛生設備改修 (配管・ポンプ類・機器・衛生器具など)
8	空気調和設備改修 (配管・ダクト・機器など)
9	電気設備改修 (配管・配線・盤・照明器具など)
10	法適合 (建築基準法、消防法、ユニバーサルデザインなど)
11	模様替え (リフォーム)
12	その他

使用単価一覧	(税抜き)	
校舎解体	24,530	円 / m ²
校舎解体 (アスベスト込)	48,530	円 / m ²
体育館解体	19,950	円 / m ²
体育館解体 (アスベスト込)	43,950	円 / m ²
校舎大規模改修 (屋上防水・外壁改修除く)	138,610	円 / m ²
体育館大規模改修 (屋上防水・外壁改修除く)	115,400	円 / m ²
校舎屋上防水・外壁改修	50,800	円 / m ²
体育館屋上防水・外壁改修	35,900	円 / m ²

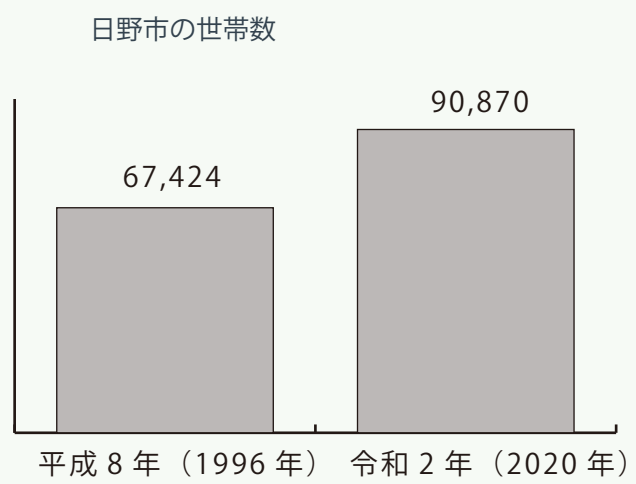
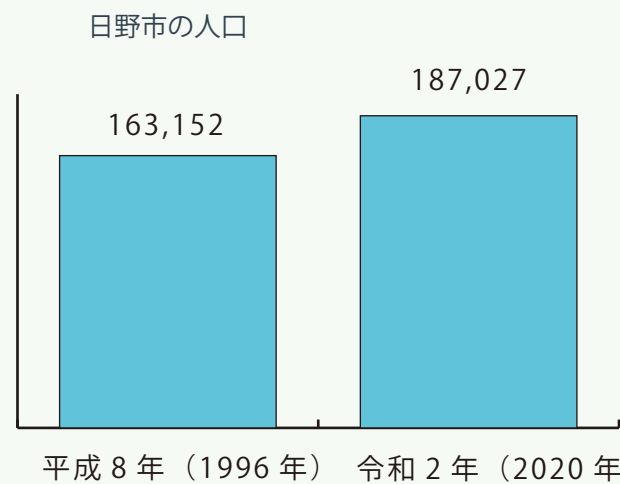
- ・都の公共施設発注積算単価をもとに、算出。積算単価も資材高騰、物価高、コロナの影響等により上がっている。今後、さらに単価が上がり、工事費はさらに高くなる模様。
- ・耐震診断・耐震補強＋大規模改修はセットとなる。

7. 公共施設における事故

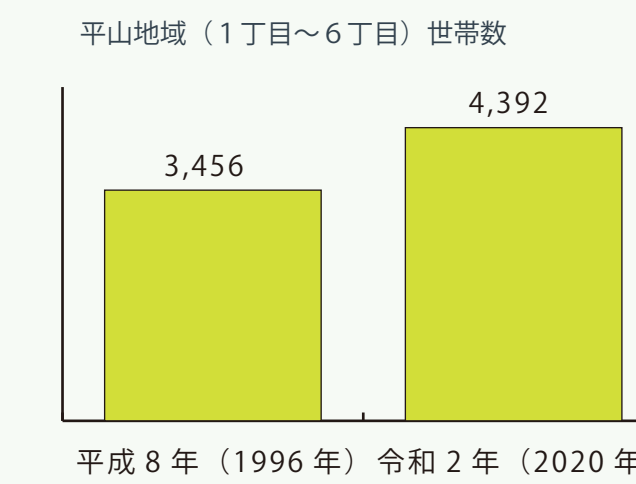
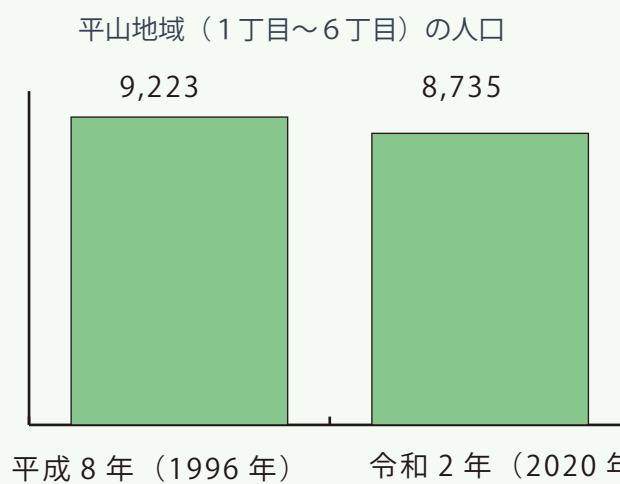


- ・公共施設における事故の多くは老朽化が原因
- ・日野市内でも、百草台コミュニティセンターでバスケットゴールが落下する事故が発生した。
- ・平山台健康市民支援センターについても安全面の確保が困難な状況になりつつある。

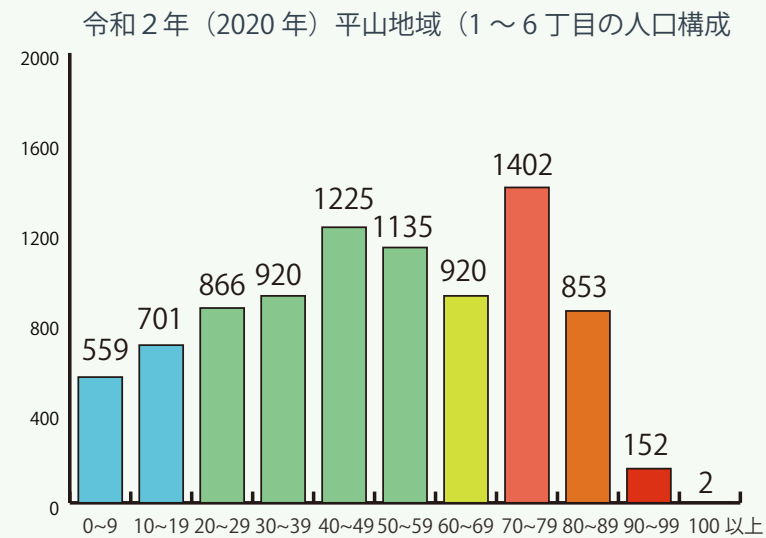
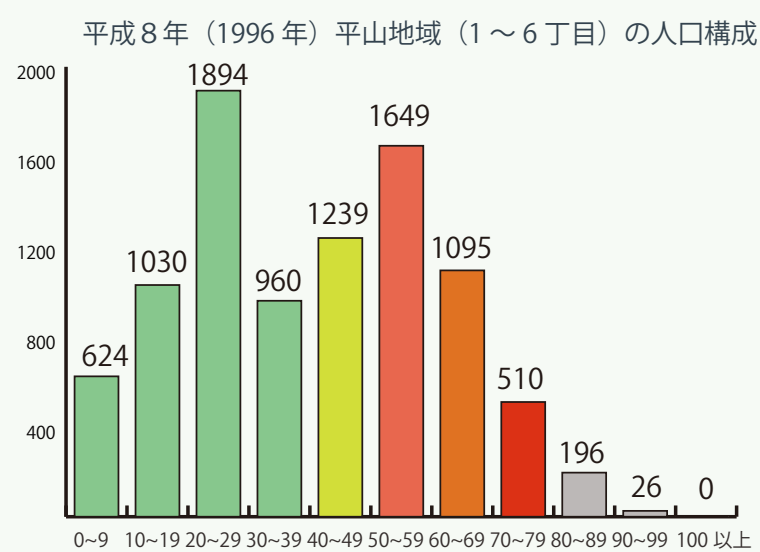
人口から見る、平山地域



・日野市全域の人口の動向として、人口、世帯数ともにこの24年間で、増加している。

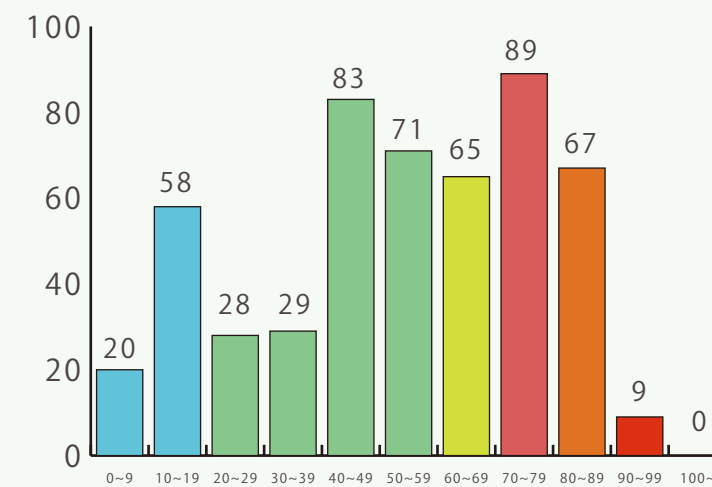


・平山地域の人口の動向として、人口は、この24年間で、約500人減、世帯数は、約900世帯増加している。
 ・人口減、世帯数増は、単身世帯(独り身)増加しており、今後さらに加速する見込み。
 ・今後、この地域やさらなる高齢化への対応並びに福祉課題への対応が予想される。

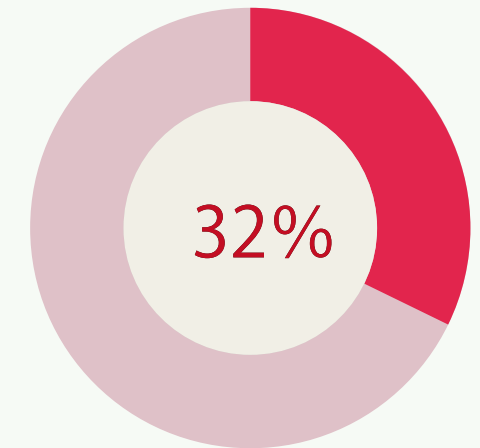


・平成8年(1996年)の40代、50代、60代→24年後、そのままスライドしている。
 ・平成8年(1996年)の20代→24年後、多くが、平山地域を離れている。

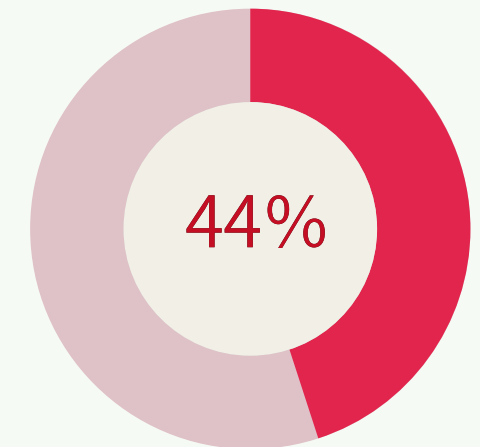
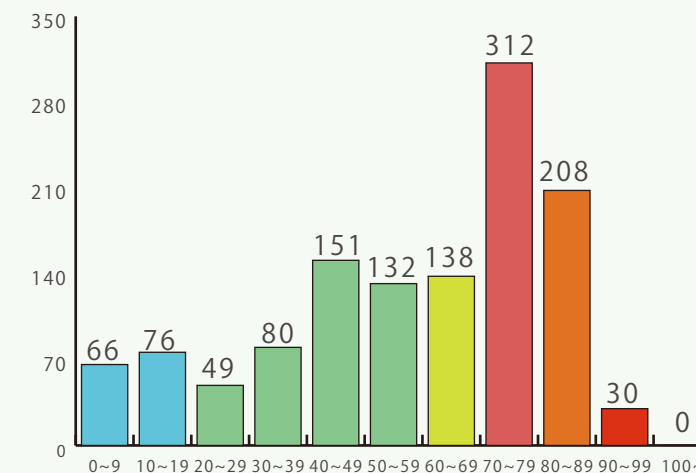
令和 2 年 (2020 年) 平山 1 丁目の人口構成 N=519



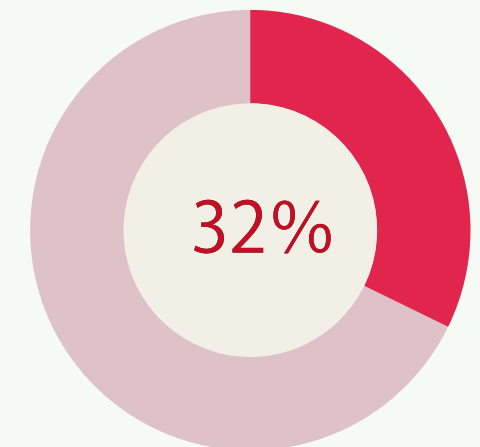
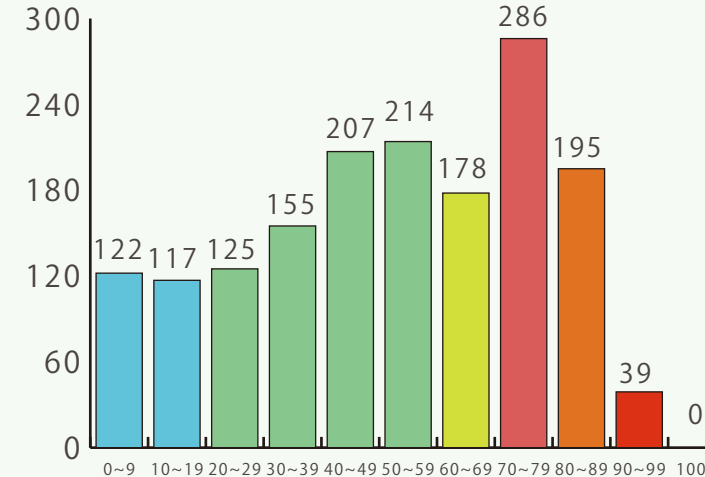
70 代以上の割合



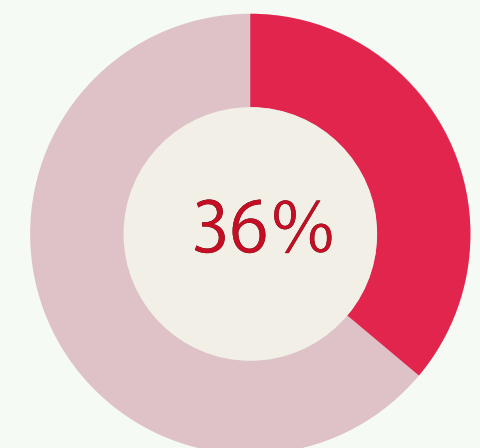
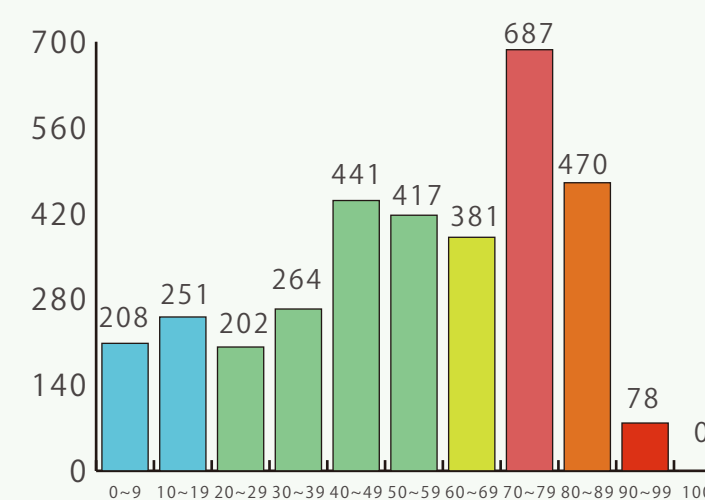
令和 2 年 (2020 年) 平山 2 丁目の人口構成 N=1242



令和 2 年 (2020 年) 平山 3 丁目の人口構成 N=1638



令和 2 年 (2020 年) 平山 1 丁目～3 丁目の人口構成 N=3399



8. 機能・サービスの在り方

(1) 空き家(既存ストック)⇒コミュニティ×多世代交流×イベント



程久保で地域の空き家を活用し、高齢者を含めた様々な人が立ち寄れる空間＝ふれあいサロンとした事例です。この空間では、カフェ、体操、音楽、パソコン教室などが行われ、地域の拠点として様々な機能を担っています。

(2) 空き家(既存ストック)⇒遊び場×防災×コミュニティ×菜園×イベント



武蔵野台住宅地内(日野市)には、公園や広場がなく、老朽化したアパートの空き家があったことで、地域住民が集える広場に転用した事例です。

ここでは住民自ら跡地を耕し、菜園や花壇、防災活動、芋ほり、子どもの遊び場など様々な交流イベントが行われています。さらには、この地域では、近所の駐車場や玄関前などでカフェや上映会、居酒屋など、試行的に行われており、地域が様々な機能・サービスを提供する土台となっている事例です。

(3) 広場・公園⇒運動・スポーツ×コミュニティ×イベント×交流



平山台健康・市民支援センター

12/10(土)、1/14(土)、1/28(土)

9:00～9:30

年齢を問わず参加できる体操

【対象】日野市内在住のどなたでも

日野市内の各地域で、青空体操を実施。公園・広場スペースをマットを引いて、体操・太極拳・ノルディックウォーキング体験を実施している事例。発想、考え方次第で、様々な機能・サービスを展開できる

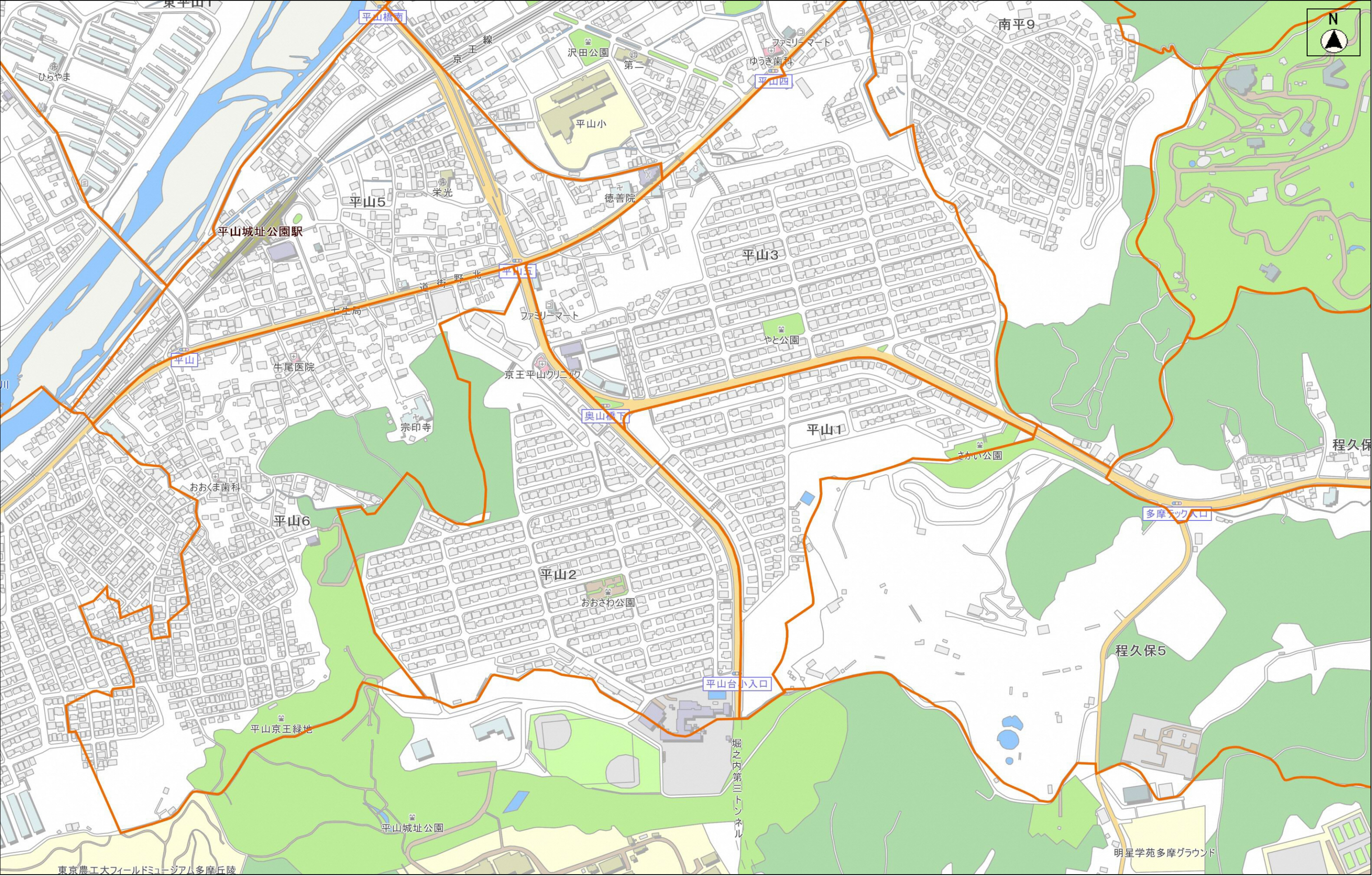
(4) 施設の屋外スペース⇒映画館×仕事場×カフェ×コミュニティ×多世代交流×イベント



施設の普段使われていない、スペースを活用し、常設で、アウトドア用テント・机・椅子を設置し、様々な活用を展開している事例。時には、映画館、時には、ライブ会場、時にはお茶のみスペース、時に、仕事場など様々な機能・サービスを提供し、拠点となる。時期、時間により、来る世代も違えば、活用用途も異なる。考え方、発想次第で、いろんなことが生まれる空間となっている。日野市で実施している寄合処事業の事例

9. 今後について

この意見交換会をスタートとして、平山地域のまちの成り立ちや、平山台健康・市民支援センターが担っている機能を踏まえながら、この地域について、必要な機能・サービスなどについて、利用者、関係団体、地域の皆様といっしょに考えてまいりたいと思います。



縮尺 1 : 5000

